



# 心磨・本学・心鍛

心を磨く 本気で学ぶ 心身を鍛える

鶴ヶ島中学校  
学校だより  
H30.11.5  
No.7  
校長：青柳 高

## 鶴ヶ島中学校の生い立ち

本日、11月5日は、鶴ヶ島中学校の開校記念日です。今回は、本校の73年間の歴史を振り返ってみたいと思います。

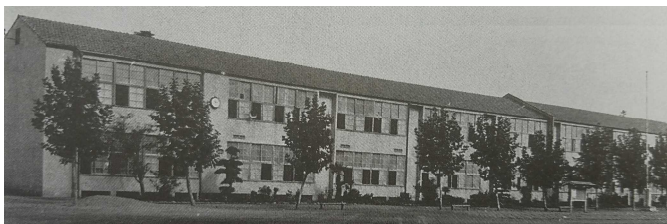
終戦直後の混乱した中で国の大きな改革の一つとして教育改革がありました。その国による教育制度の発足に伴い、昭和22年4月に義務制の新制中学校として開校しました。当時は校舎もなく現在の鶴ヶ島第一小学校の南側校舎を間借りして授業を行ったのが鶴ヶ島村立鶴ヶ島中学校の始まりだそうです。昭和23年の3月に第1回の卒業式が行われました。その時の卒業生徒数は45名だったそうです。昭和26年に現在の場所に木造2階建ての校舎が落成しました。



第1回卒業生(昭和23年1月撮影)



校舎落成記念式典(昭和26年9月7日)



木造校舎の全景(昭和27年)

## 開校記念日制定！！

その後、校舎については、昭和52年に鉄筋防音校舎の第1期工事が始まり、昭和54年第3期工事が完了しその年の11月5日に防音校舎落成祝賀式が行われました。現在の校舎がその時の工事で建てられたものです。その日を記念し開校記念日を制定したそうです。



昭和31年頃の航空写真



平成8年頃の航空写真

## 鶴ヶ島の発展とともに学校が分離！！

昭和22年の開校当初の生徒数は296人、町立鶴ヶ島中学校になった昭和41年の時は486人でした。その後も鶴ヶ島町の発展に伴い人口も急増し、昭和54年藤中学校が分離しました。分離前の生徒数は1100人でした。また、昭和56年には、藤中から富士見中が分離しました。更に、鶴ヶ島中学校は、生徒数が1116人に膨れあがり、昭和60年に西中学校と分離しました。同年に、藤中も南中と分離をしました。そして、平成3年市制施行により鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校となりました。

## 地域が誇る学校！受け継がれる伝統！！

創立50周年記念誌には、創立当初より多くの部活動が県大会で優勝し関東大会や全国大会に出場した記録が記されています。なかでも昭和34年には第5回日本放送陸上競技大会にて女子400mRで全国優勝。昭和35年には3種競技で全国優勝とありました。文化部門でも昭和59年に放送部が第5回埼玉県中学校児童生徒校内放送コンテストで教育長賞を受賞。平成4年には、関東音楽教育埼玉県大会に1年5組が県代表として参加と記されていました。

また、開校当初から産業教育に力を入れており昭和32年に産業教育視察のため文部大臣が来校されたとありました。



昭和34年全国放送陸上競技大会女子400mR全国優勝